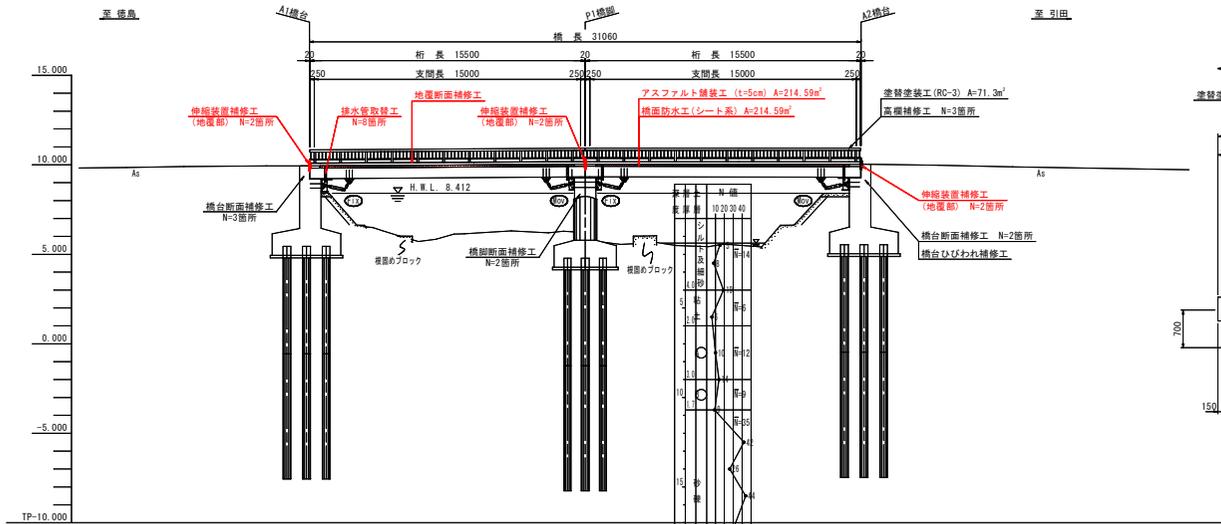


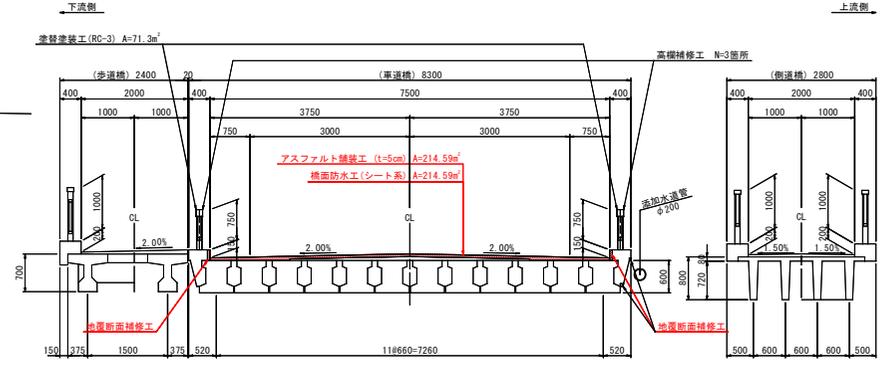
補修一般図

〈車道橋〉

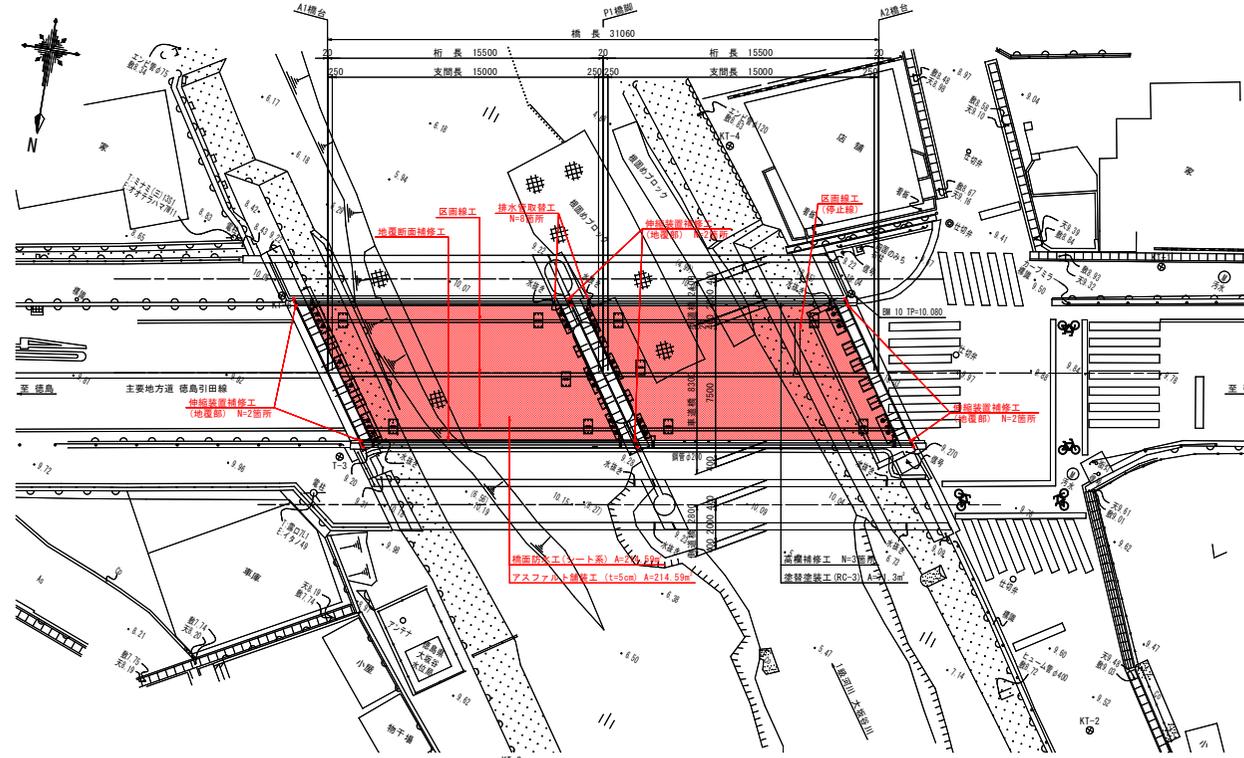
側面図 S=1:150



断面図 S=1:50



平面図 S=1:150



既設橋梁設計諸元			
路線名	主要地方道 徳島引田線		
構造形式	プレテンション方式2径間単純1桁橋	プレテンション方式2径間単純木ロー桁橋	プレテンション方式2径間単純ダブル桁橋
設計自動車荷重	自歩道橋	1等橋	自歩道橋
橋長	31.500m	31.060m	31.060m
桁長	2815.720m	2815.500m	2815.500m
支間長	2815.120m	2815.000m	2815.000m
有効幅員	2.000m	2.500m	2.000m
縦断勾配	Level.	i=1.715%, 1.600% 凸型勾配	i=0.644% 片勾配
横断勾配	2.0% 片勾配	2.0% 凸型勾配	1.5% 凸型勾配
斜角	θ=65° 00' 00"	θ=65° 00' 00"	θ=65° 00' 00"
舗装	アスファルト舗装	アスファルト舗装	アスファルト舗装
設計年度	不明 (平成2年(1990年)9月竣工)	昭和47年(1972年)	不明 (昭和55年(1980年)竣工)
適用示方書	道路橋示方書・両解説(昭和53年3月)	道路橋示方書・両解説(昭和47年3月)	不明

構造名称	橋台	橋脚	橋台
下部工名称	左岸側(A1)	中央(P1)	右岸側(A2)
支承条件	FIX	MOV	MOV
下部構造形式	逆I式橋台	張出し橋脚	逆I式橋台
基礎構造形式	鋼管杭	鋼管杭	鋼管杭

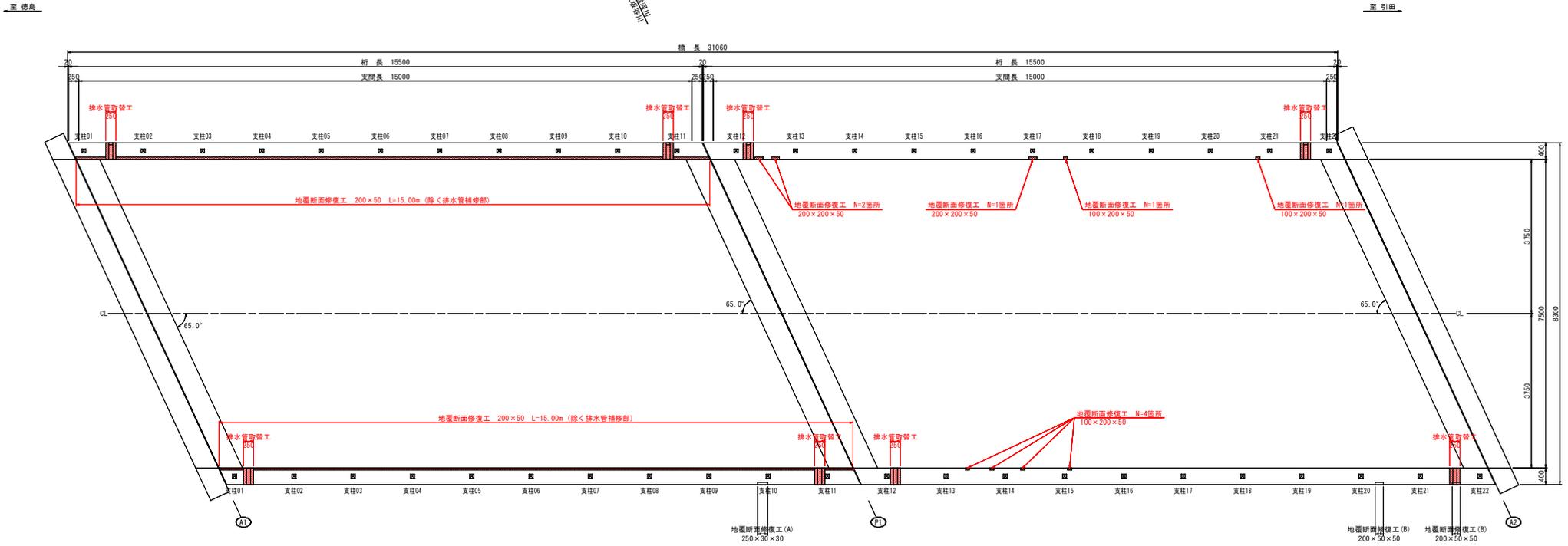
〈車道橋〉	
工事名等	R2徳島 徳島引田線 坂・大寺 橋面舗装工事
路線名等	徳島引田線
工事箇所	板野郡板野町大寺 (大坂谷橋他)
図面名	補修一般図
縮尺	S=1:150 図面番号 1 / 10
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>

(注記)
 1. 地形図は、湧水防止システム設計業務時のデータをそのまま使用している。
 2. H.W.L.は、湧水防止設計業務時の値で、自歩道橋のH.W.L.を基に設定している。

地覆補修工詳細図 S=1:50

<車道橋>

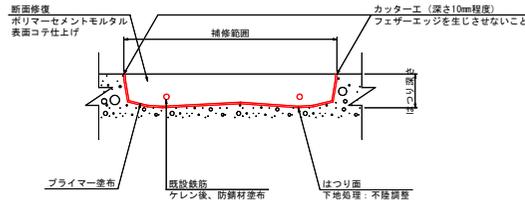
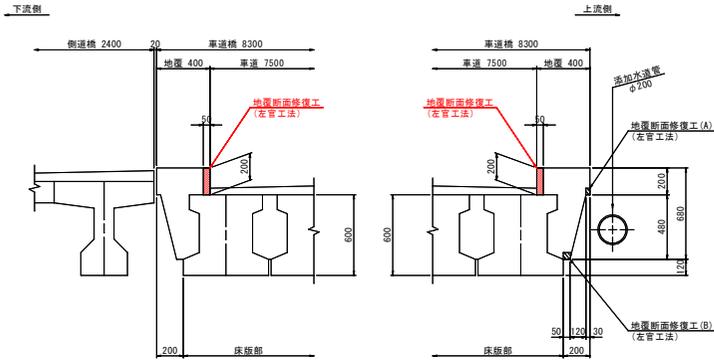
平面図



地覆補修工断面図 S=1:20

断面修復工要領図 (左官工法) S=1:5

施工手順



- (注記)
- はつり深さは、30~50mm程度を想定。ただし、うきや剥離部は全て除去すること。
 - 鉄筋が見えた場合ははつり深さは、鉄筋の裏側が露出するまでとはつること。その際、露出した鉄筋は、ケレンを行い防錆材塗布を行うこと。
 - はつりの際は、主筋を損傷しないように注意すると共に、既設鉄筋を切断しないよう注意すること。

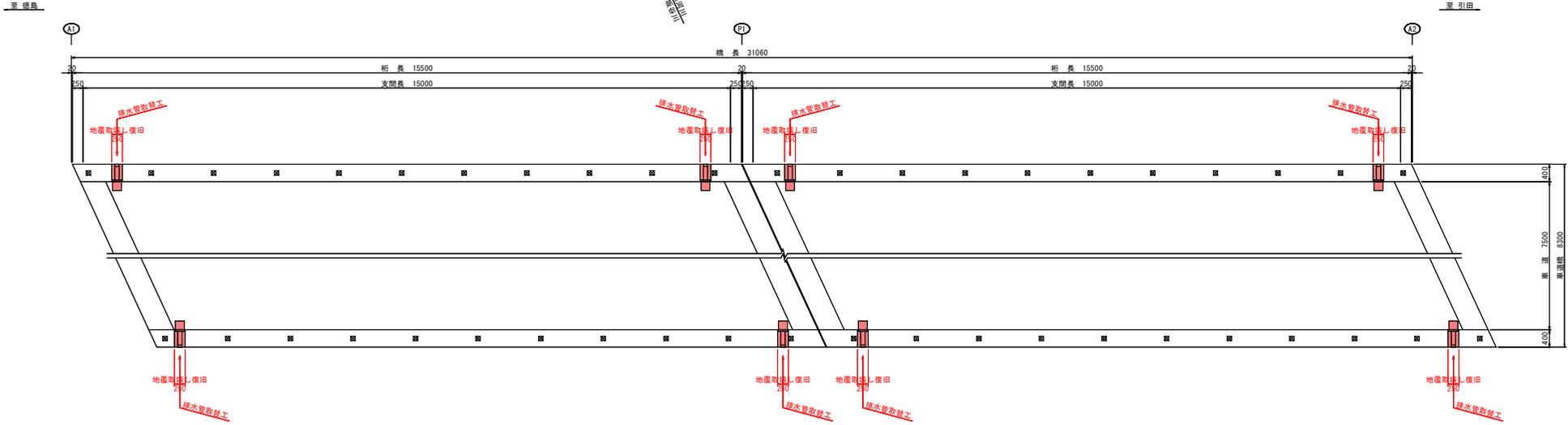


<車道橋>	
工事名	R2徳島 徳島引田線 板・大寺 橋面舗装工事
路線名等	徳島引田線
工事箇所	板野郡板野町大寺 (大坂谷橋他)
図面名	地覆補修工詳細図
縮尺	S=1:50 図面番号 2 / 10
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>

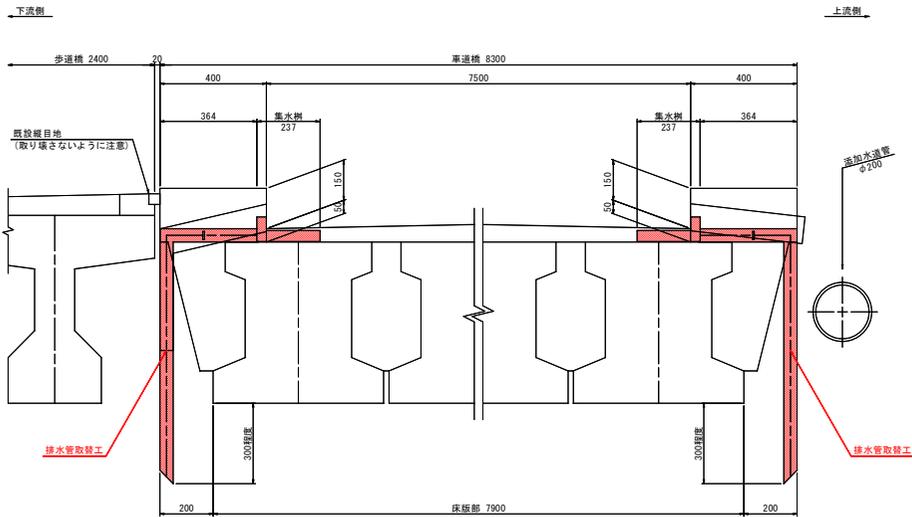
排水管取替工詳細図 S=1:50

〈車道橋〉

平面図



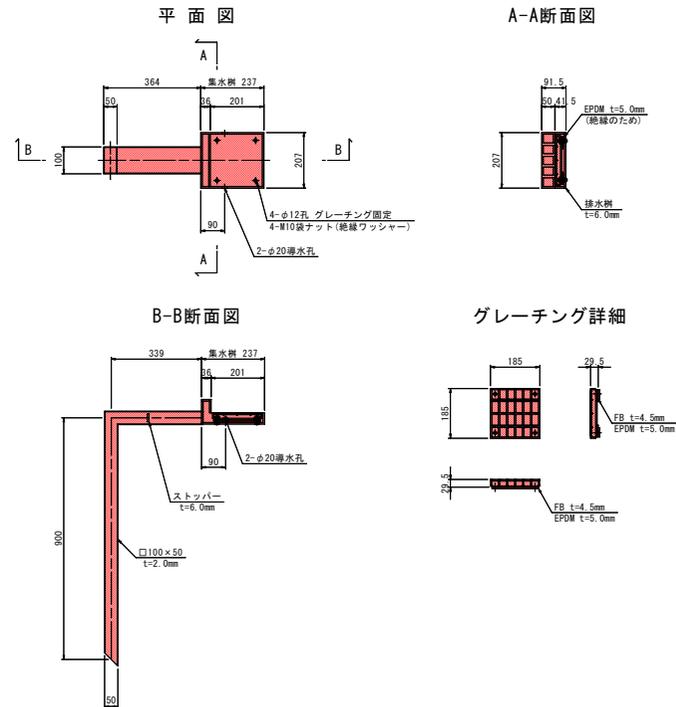
排水管取替工断面図 S=1:10



(注記)

1. 施工に際しては、現地確認・計測後製作を行うこと。
2. 特記なき材質は、全てSUS304とする。
3. グレーチングは、SS400 (溶融亜鉛メッキ)とする。
亜鉛の付着量は JIS H 8641 2種 HDZ55 とする。但し、ボルト類は HDZ35 とする。
4. 下流側地覆取替し時、既設縦目地は残すこと。また、復旧に際しては、目地と地覆の接合部にプライマーを塗布すること。
5. 地覆の復旧は、地覆補修工と同等に行うこと。

排水装置詳細図 S=1:10



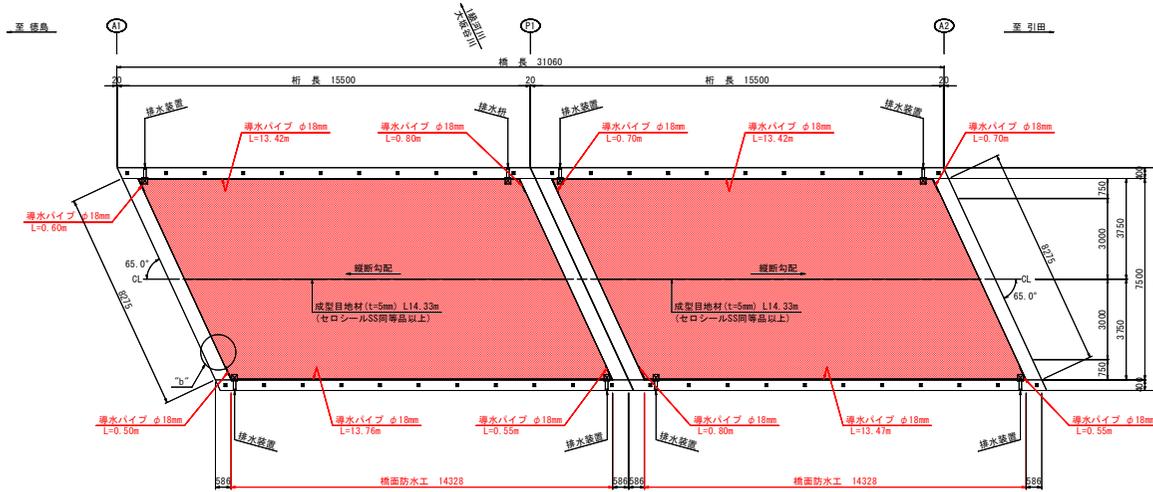
〈車道橋〉

工事名	R2徳島 徳島引田線 板・大寺 橋面舗装工事
路線名等	徳島引田線
工事箇所	板野郡板野町大寺 (大坂谷橋他)
図面名	排水管補修工詳細図
縮尺	S=1:50 図面番号 3 / 10
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局〈徳島〉

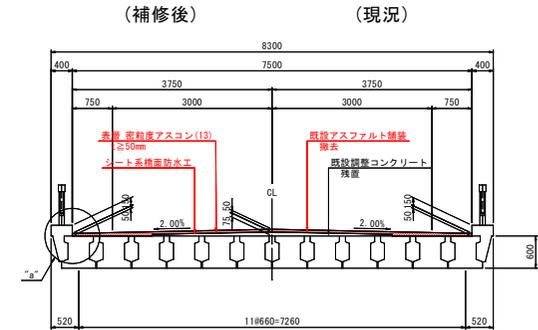
橋面防水工詳細図 S=1:100

〈車道橋〉

平面図



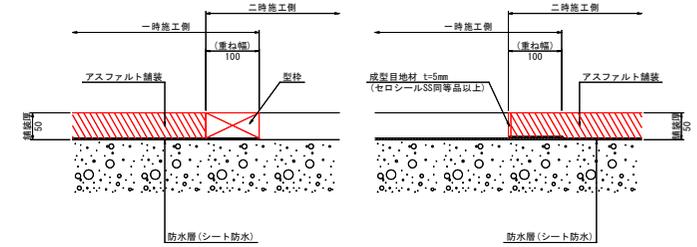
断面図 S=1:50



舗装施工境界部要領図 S=1:5

一時施工

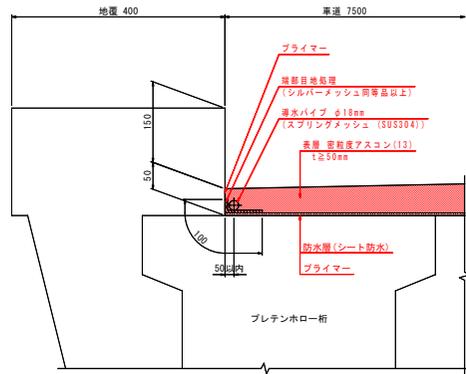
二時施工



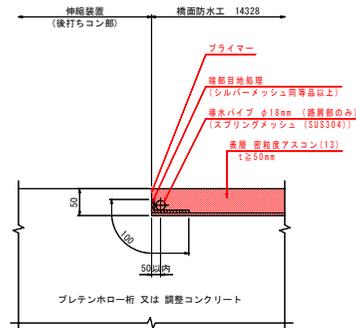
(注記)

1. 防水層は重ね幅100mmを確保すること。
2. 舗装打継ぎ面に成型目地材を設置すること。

防水工端部詳細図 S=1:5
"a"部



防水工端部詳細図 S=1:5
"b"部



橋面防水工数量

名 称	規格・寸法	単 位	数 量	備 考
防水層	シート系	m ²	214.59	
端部目地処理	シルバーマッシュ同等品以上	m ²	9.04	
導水パイプ	スプリングメッシュφ18mm (SUS304)	m	59.27	
成型目地材	セロシールSS同等品以上 t=5mm	m	28.66	分割施工時

(注記)

1. 図中の寸法は、現地計測のうえ決定すること。
2. 導水パイプは、適宜、勾配を付けて排水装置に導くこと。
3. 舗装と防水層間には、タックコートを用いないこと。
4. 既設調整コンクリート端は、無収縮モルタル等を使用しただけに処理すること。

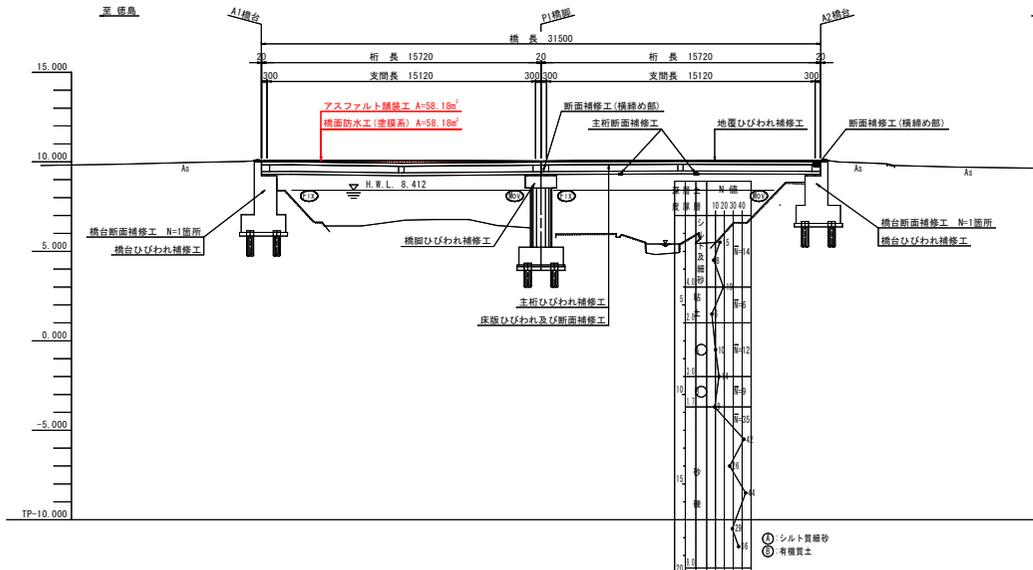
〈車道橋〉

工事名	R2徳島 徳島引田線 坂・大寺 橋面舗装工事
路線名等	徳島引田線
工事箇所	板野郡板野町大寺 (大坂谷橋橋)
図面名	橋面防水工詳細図
縮 尺	S=1:100 図面番号 4 / 10
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>

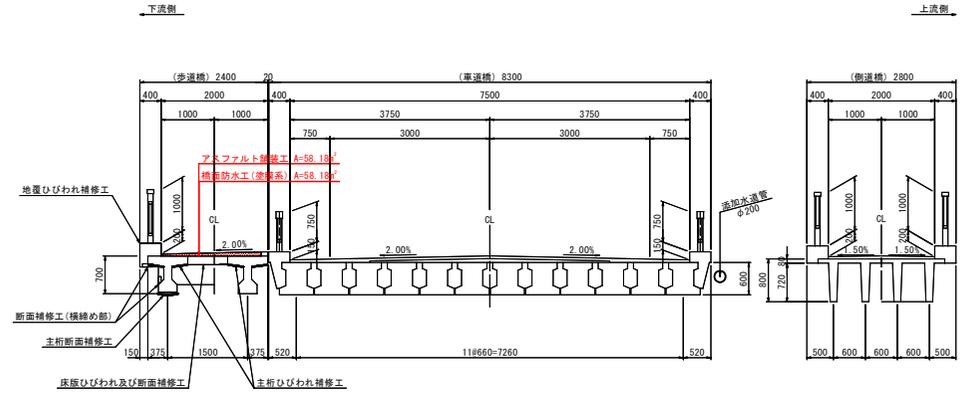
補修一般図

<歩道橋>

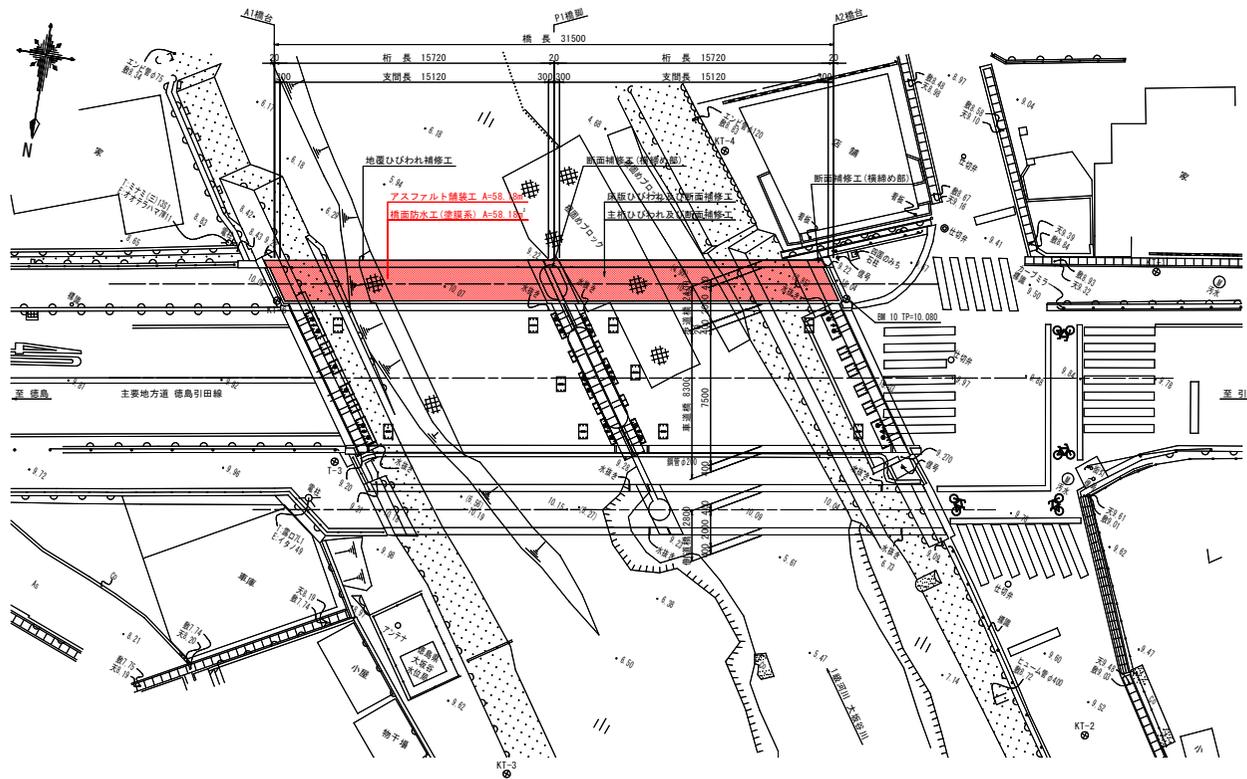
側面図 S=1:150



断面図 S=1:50



平面図 S=1:150



既設橋梁設計諸元			
路線名	主要地方道 徳島引田線		
構造形式	プレテンション方式径間単純桁橋	プレテンション方式径間単純木ロー桁橋	プレテンション方式径間単純ダブル桁橋
設計自動車荷重	自歩道橋	1等橋	自歩道橋
橋長	31.500m	31.060m	31.060m
桁長	2815.720m	2815.500m	2815.500m
支間長	2815.120m	2815.000m	2815.000m
有効幅員	2.000m	2.500m	2.000m
縦断勾配	Level.	i=1.715%, 1.600% 凸型勾配	i=0.644% 片勾配
横断勾配	2.0% 片勾配	2.0% 凸型勾配	1.5% 凸型勾配
斜角	$\theta=65^{\circ} 00' 00''$	$\theta=65^{\circ} 00' 00''$	$\theta=65^{\circ} 00' 00''$
舗装	アスファルト舗装	アスファルト舗装	アスファルト舗装
設計年度	不明 (平成2年(1990年)9月竣工)	昭和47年(1972年)	不明 (昭和55年(1980年)竣工)
適用示方書	道路橋示方書・両版(昭和53年3月)	道路橋示方書・両版(昭和47年3月)	不明

構造名称	橋台	橋脚	橋台
下部工名称	左岸側(A1)	中央(P1)	右岸側(A2)
支承条件	FIX	MOV	MOV
下部構造形式	逆I式橋台	張出し橋脚	逆I式橋台
基礎構造形式	鋼管杭	鋼管杭	鋼管杭

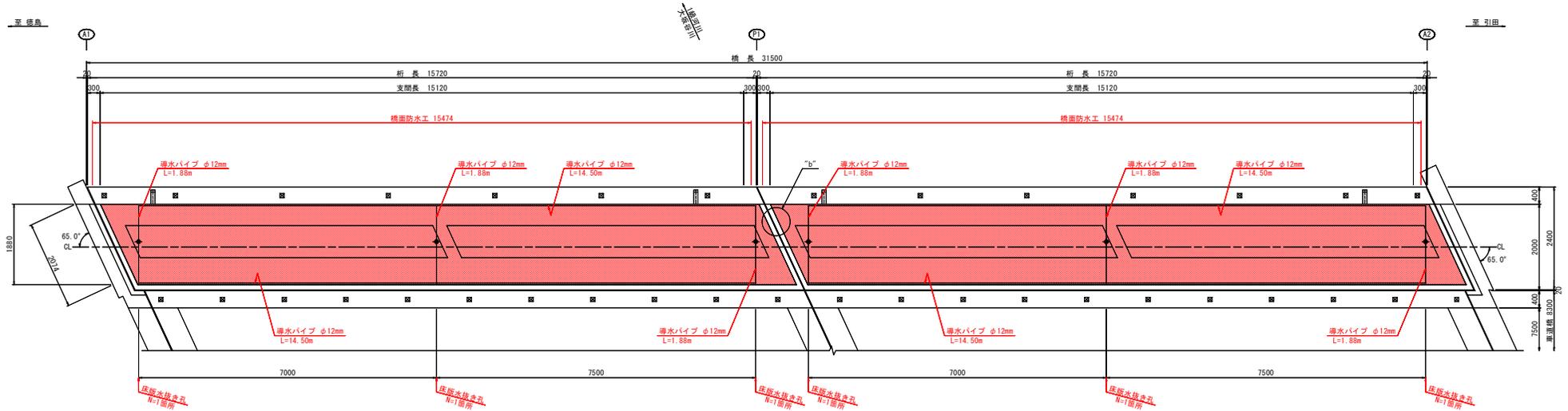
<歩道橋>	
工事名	R2徳島 徳島引田線 坂・大寺 橋面舗装工事
路線名等	徳島引田線
工事箇所	板野郡板野町大寺 (大坂谷橋他)
図面名	補修一般図
縮尺	S=1:150 図面番号 5 / 10
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>

(注記)
 1. 地形図は、落橋防止システム設計業務時のデータをそのまま使用している。
 2. H.W.L.は、落橋防止設計業務時の値で、自歩道橋のH.W.L.を基に設定している。

橋面防水工詳細図 S=1:50

〈歩道橋〉

平面図

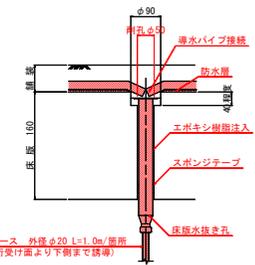
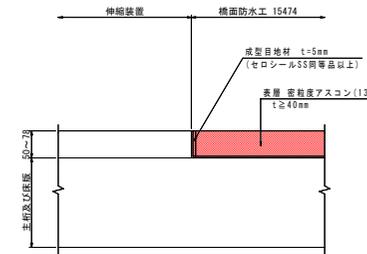
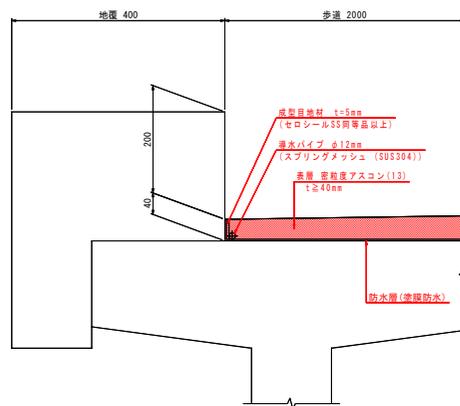
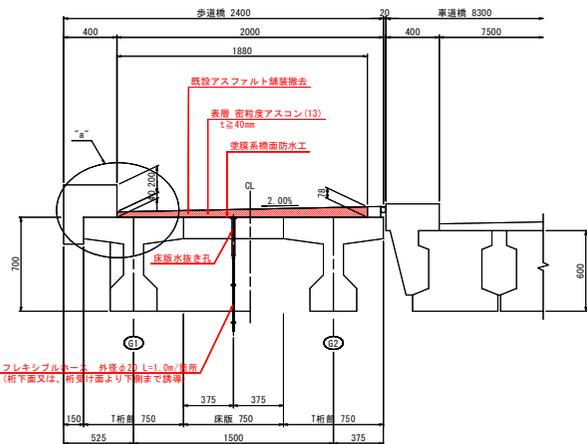


断面図 S=1:20

防水工端部詳細図 "a"部 S=1:5

防水工端部詳細図 "b"部 S=1:5

床版水抜き孔設置詳細図 S=1:4



橋面防水工数量

名称	規格・寸法	単位	数量	備考
防水層	塗膜系	m ²	58.18	
成型目地材	セロシールSS同等品以上 (t=5mm)	m	70.19	
導水パイプ	スプリングメッシュφ12mm (SUS304)	m	69.28	
床版水抜き孔	SUS304	箇所	6.0	
フレキシブルホース	外径φ20 (SUS316L)	m	6.00	止め金具 2輪/箇所

(注記)

- 図中の寸法は、現地計測のうえ決定すること。
 - 舗装と防水層間には、タックコートを用いないこと。
 - 導水パイプは、床版水抜き孔に導くこと。
 - 床版水抜き孔は、設置に際しては鉄筋検査を実施し、床版鉄筋を避けて設置すること。
 - フレキシブルホースは、桁下面又は、桁受け面より下側まで配置すること。
- 配置に際しては、横桁や下工に止め金具を設置すること。(主桁に設置しないこと。)

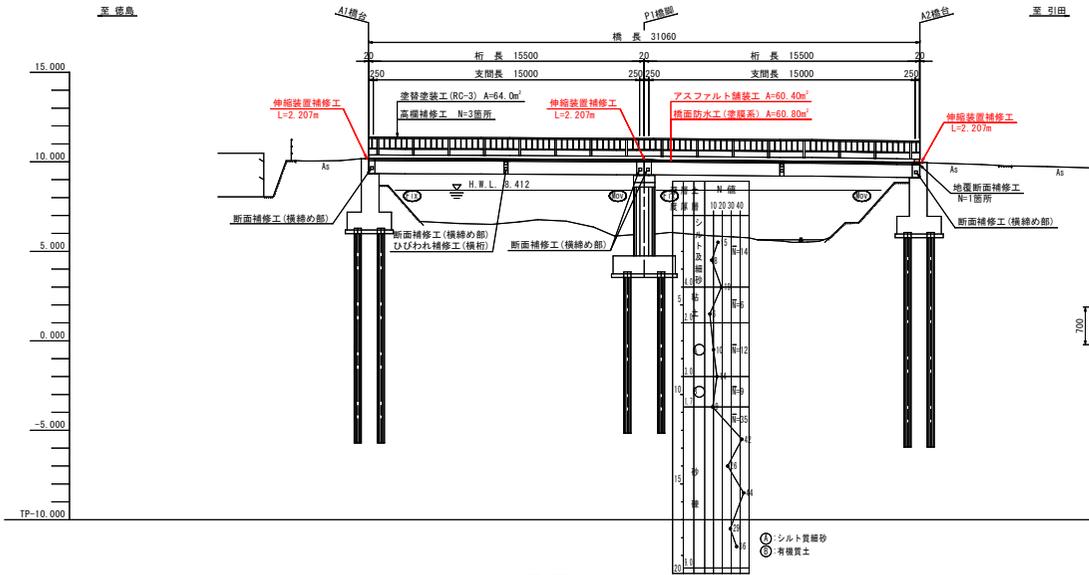
〈歩道橋〉

工事名	R2徳島 徳島引田線 板・大寺 橋面舗装工事
路線名等	徳島引田線
工事箇所	板野郡板野町大寺 (大坂谷橋橋)
図面名	橋面防水工詳細図
縮尺	S=1:50 図面番号 6 / 10
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>

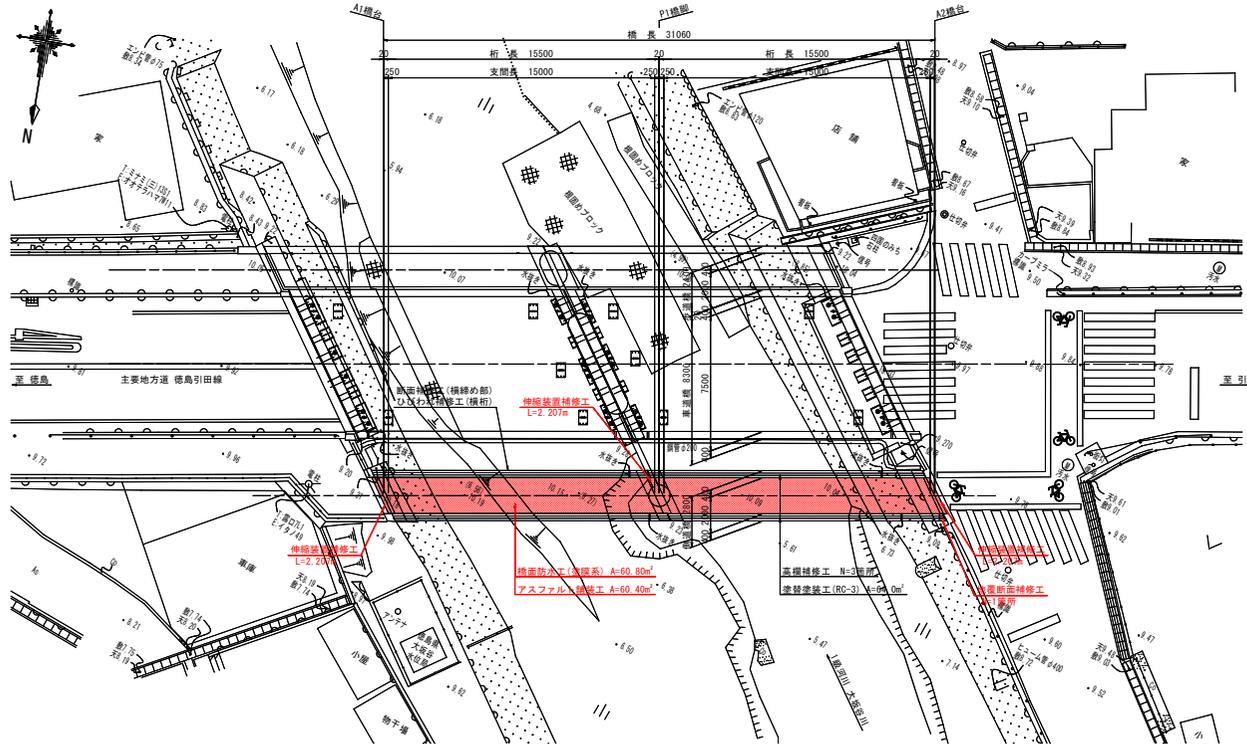
補修一般図

＜側道橋＞

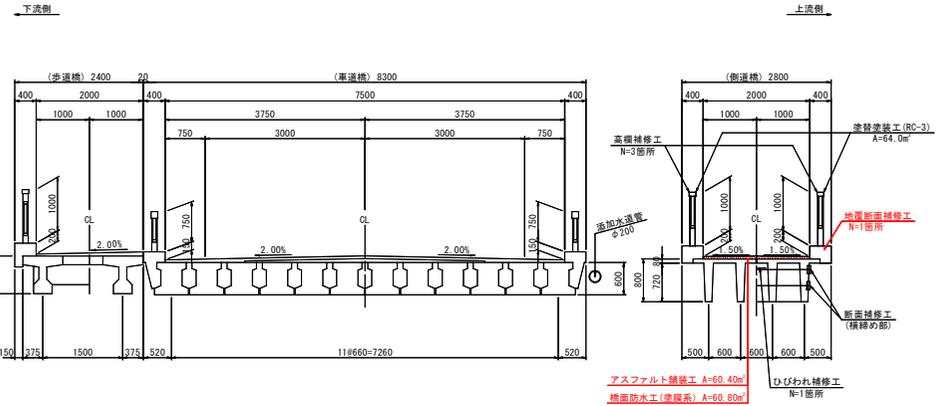
側面図 S=1:150



平面図 S=1:150



断面図 S=1:50



既設橋梁設計諸元			
路線名	主要地方道 徳島引田線		
構造形式	プレテンション方式2径間単純桁橋	プレテンション方式2径間単純木ロー桁橋	プレテンション方式2径間単純ダブル1桁橋
設計自動車荷重	自歩道橋	1等橋	自歩道橋
橋長	31.500m	31.060m	31.060m
桁長	2815.720m	2815.500m	2815.500m
支間長	2815.120m	2815.000m	2815.000m
有効幅員	2.000m	7.500m	2.000m
縦断勾配	Level.	i=1.715%, 1.600% 凸型勾配	i=0.644% 片勾配
横断勾配	2.0% 片勾配	2.0% 凸型勾配	1.5% 凸型勾配
斜角	θ=65° 00' 00"	θ=65° 00' 00"	θ=65° 00' 00"
舗装	アスファルト舗装	アスファルト舗装	アスファルト舗装
設計年度	不明 (平成2年(1990年)9月竣工)	昭和47年(1972年)	不明 (昭和55年(1980年)竣工)
適用示方書	道路橋示方書・両解説(昭和53年3月)	道路橋示方書・両解説(昭和47年3月)	不明

構造名称	橋台	橋脚	橋台
下部工名称	左岸側(A1)	中央(P1)	右岸側(A2)
支承条件	FIX	MOV	FIX
下部構造形式	逆I式橋台	張出し橋脚	逆I式橋台
基礎構造形式	鋼管杭	鋼管杭	鋼管杭

＜側道橋＞

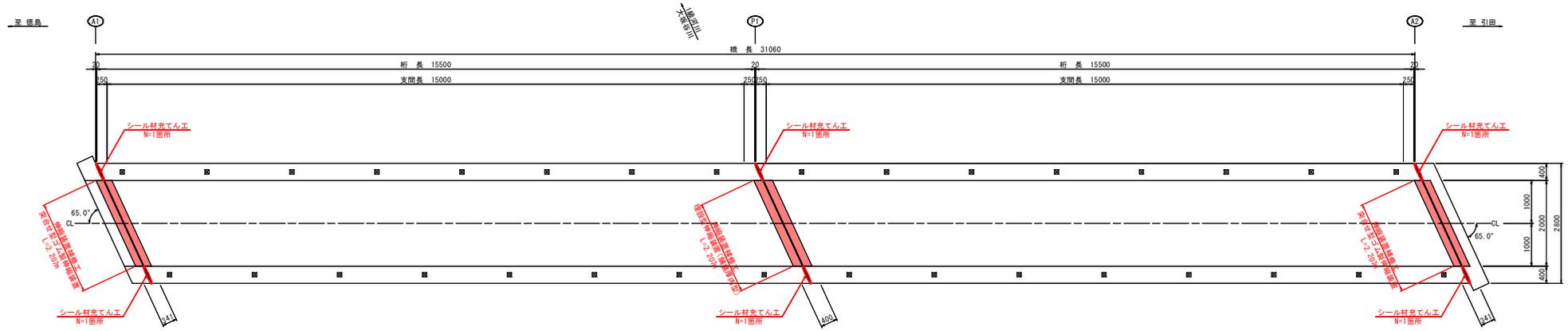
工事名	R2徳島 徳島引田線 板・大寺 橋面舗装工事
路線名等	徳島引田線
工事箇所	板野郡板野町大寺 (大坂谷橋他)
図面名	補修一般図
縮尺	S=1:150 図面番号 7 / 10
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局＜徳島＞

(注記)
 1. 地形図は、湧水防止システム設計業務時のデータをそのまま使用している。
 2. H.W.L. は、湧水防止設計業務時の値で、自歩道橋のH.W.L. を基に設定している。

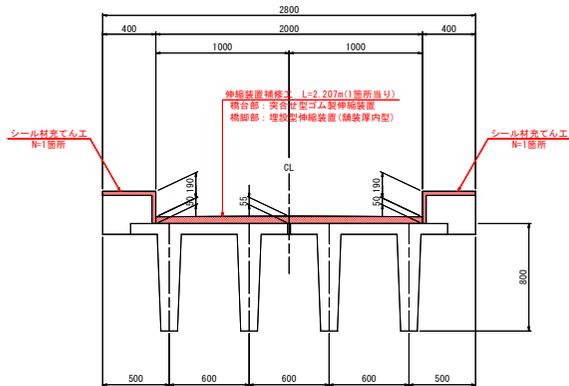
伸縮装置補修工詳細図 S=1:50

〈側道橋〉

平面図

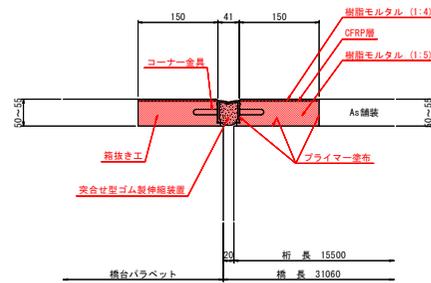


断面図 S=1:20



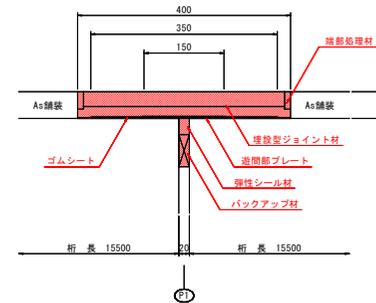
突合せ型ゴム製伸縮装置図 S=1:5

(カットオフジョイント同等品)



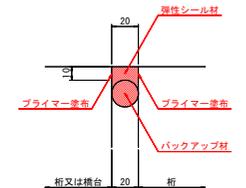
埋設型伸縮装置図 S=1:5

(舗装厚内型)



シーリング材充填 S=1:2

(地覆部)



数量表

名称	規格・寸法	単位	A1部数量	P1部数量	A2部数量	合計
突合せ型ゴム製伸縮装置		m	2.207		2.207	4.414
埋設型伸縮装置	舗装厚内型	m		2.207		2.207
シーリング材	シリコン系	L	0.233	0.273	0.193	0.699
角抜き工	橋台天端部0o取壊し	m	2.207		2.207	4.414

(注記)

1. 図中の寸法は、現地計測のうえ決定すること。
2. 舗装の最小厚は40mmであるが、伸縮装置部は最小厚50mmとすること。その時、伸縮装置前後の1m程度の区間で接合を行うこと。

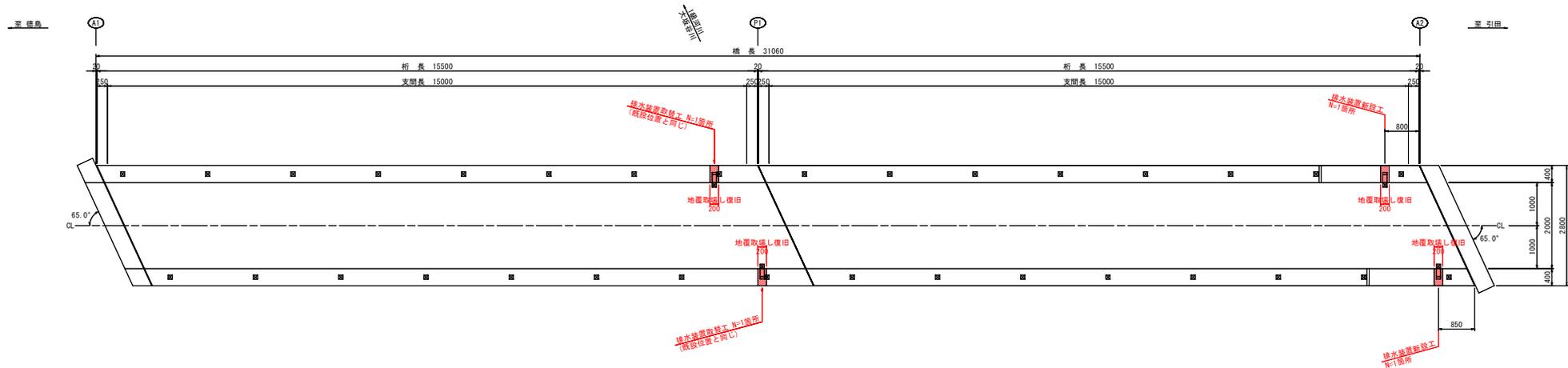
〈側道橋〉

工事名	R2徳土 徳島引田線 板・大寺 橋面舗装工事
路線名等	徳島引田線
工事箇所	板野郡板野町大寺 (大坂谷橋他)
図面名	伸縮装置補修工詳細図
縮尺	S=1:50 図面番号 8 / 10
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局〈徳島〉

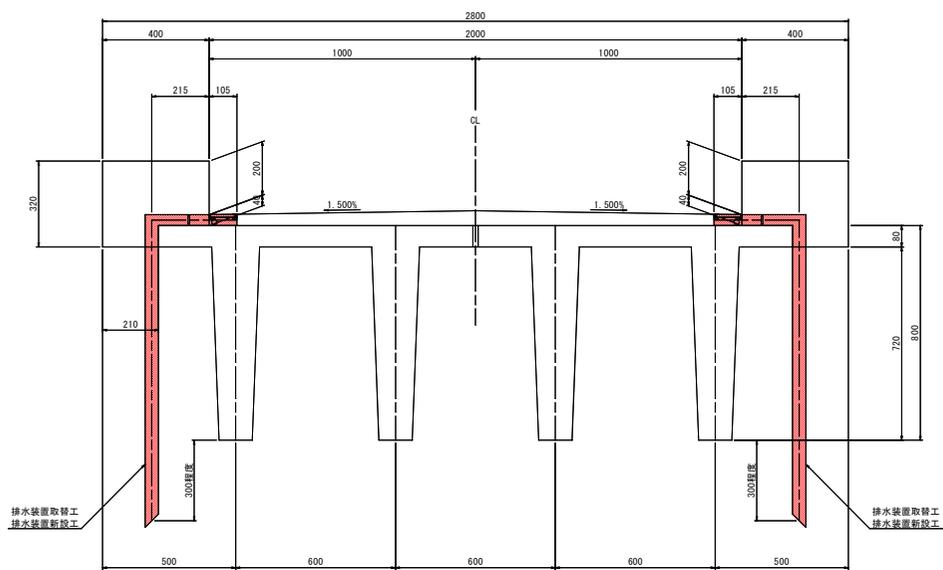
排水管取替工詳細図 S=1:50

<側道橋>

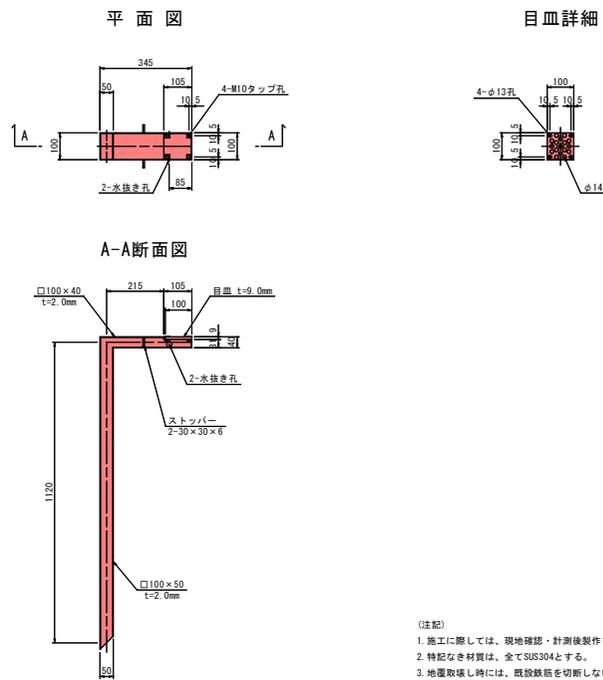
平面図



排水管取替工断面図 S=1:10



排水装置詳細図 S=1:10



- (注記)
1. 施工に際しては、現地確認・計測後製作を行うこと。
 2. 特記なき材質は、全てSUS304とする。
 3. 地覆取壊し時には、既設鉄筋を切断しないこと。
また、既設鉄筋に当たる場合は、取替え排水管位置を調整すること。
 4. 地覆の復旧は、地覆補修工と同等に行うこと。

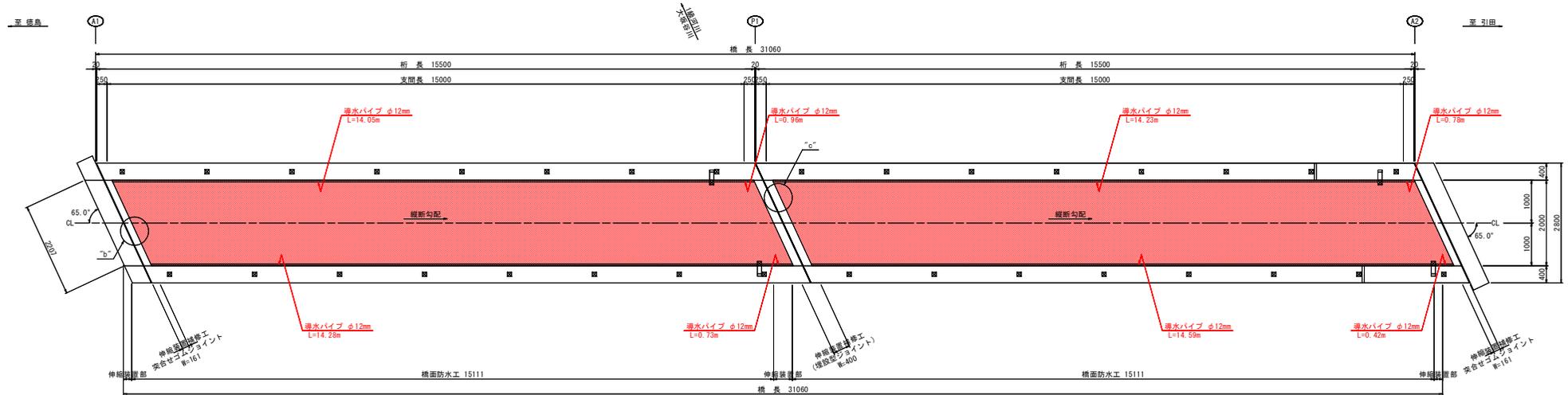
<側道橋>

工事名	R2徳島 徳島引田線 板・大寺 橋面舗装工事
路線名等	徳島引田線
工事箇所	板野郡板野町大寺 (大坂谷橋側)
図面名	排水管補修工詳細図
縮尺	S=1:50 図面番号 9 / 10
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>

橋面防水工詳細図 S=1:50

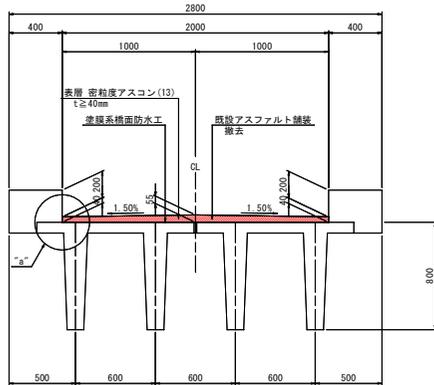
<側道橋>

平面図



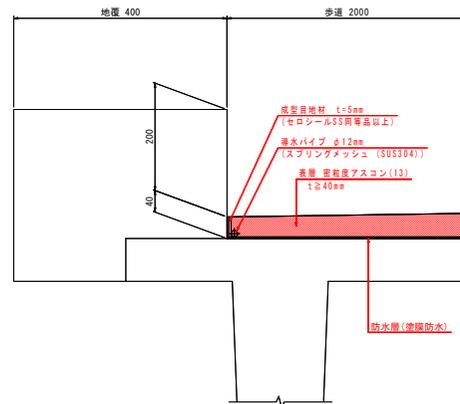
断面図 S=1:20

(補修後) (現況)



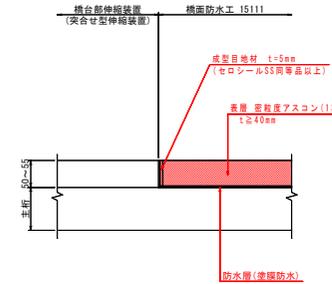
防水工端部詳細図 S=1:5

"a"部



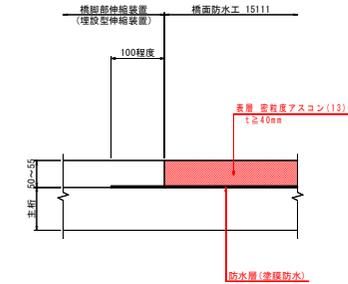
防水工端部詳細図 S=1:5

"b"部



防水工端部詳細図 S=1:5

"c"部



橋面防水工数量

名称	規格・寸法	単位	数量	備考
防水層	塗膜系	m ²	60.80	
成型目地材	セロシールSS同等品以上 (t=5mm)	m	64.86	
導水パイプ	スプリングメッシュφ12mm (SUS304)	m	60.04	

(注記)

- 図中の寸法は、現地計測のうえ決定すること。
 - 導水パイプは、適宜、勾配を付けて排水装置に導くこと。
 - 舗装と防水層間には、タフコートを用いないこと。
 - 橋脚部の伸縮装置は、橋面防水工を施工後に、施工すること。
- 橋面防水工(塗膜防水)は、橋脚部の伸縮装置においては、10cm程度余裕に施工すること。

<側道橋>

工事名	R2徳土 徳島引田線 板・大寺 橋面補装工事
路線名等	徳島引田線
工事箇所	板野郡板野町大寺 (大坂谷橋他)
図面名	橋面防水工詳細図
縮尺	S=1:50 図面番号 10 / 10
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>